

三田市都市計画 マスタープラン

都市計画に関する基本的な方針
2023 → 2032

三田市都市計画マスタープラン

令和5年4月
三田市



三田市
令和5年4月

人口減少にも負けない持続可能なまちづくりを目指して ～ 都市計画に関する6つの方針 ～



本市は、都市近郊に位置しながら、私たちの暮らしに様々な恵みや安らぎを与える里山風景と都市としての利便性、快適性をあわせ持ち、それぞれの地域とひとが相互につながることによって、都市と農村が共生する賑わいと活力あふれる都市へと成長してきました。

近年、都市を取り巻く状況は、人口減少や少子高齢化の進行、長引くコロナ禍による社会経済活動の変化、SDGsの浸透とともに社会のデジタル化や脱炭素化が加速的に進むなど、このような時代の変革期において、都市に求められる姿は大きく変化しております。

本市では、令和の時代にふさわしい新たなまちづくりをスタートさせるため、令和4年4月、第5次三田市総合計画を策定し、まちづくりの基本目標を“「ひと」×「まち」×「さと」が織りなす未来都市 三田”とし、「ひと」「まち」「さと」の魅力をそれぞれ掛け合わせながら、市民一人ひとりがいつまでも住み続けられるまちづくりに取り組んでおります。

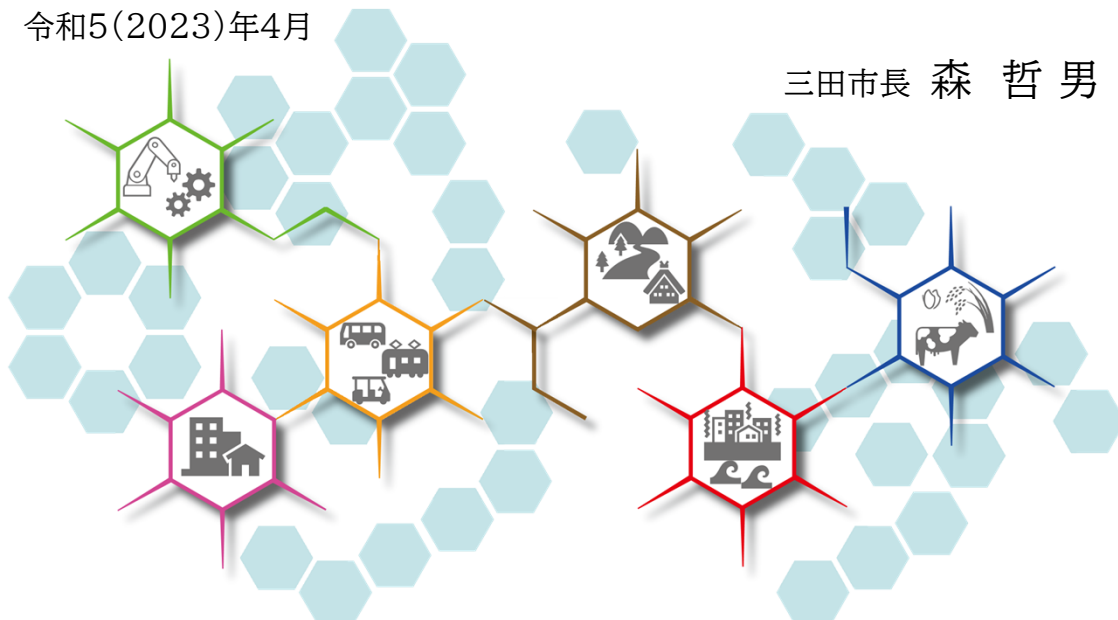
そして、これらのまちづくりを都市計画の視点から推進していくため、このたび、三田市の都市計画に関する基本的な方針（三田市都市計画マスタープラン）の改定を行いました。

本方針では、人口減少にも負けない持続可能な都市構造の実現に向け、都市計画に関する6つの方針として、「持続可能な都市形成」、「新産業の創出」、「農村地域の活性化」、「交通ネットワークの形成」、「地域資源の活用」、「安全・安心な都市形成」を定めました。この6つの方針を「バランスの良い六角形の構造」に見立て、それぞれの方針に沿ったまちづくりを進め、多様な主体が有機的につながることによって、新しい未来を切り拓く「共創、共生、再生のまちづくり」を推進し、まちの魅力と暮らしの豊かさを市民一人ひとりが享受し、誰もが安心して住み続けられる、「人口減少にも負けないまちづくり」を目指してまいります。

最後になりましたが、本方針の改定にあたり、市民の皆様からのパブリックコメントなどによる多くのご意見をはじめ、三田市都市計画審議会や市議会をはじめ関係機関の皆様からご指導、ご提案を賜りました。心より感謝とお礼を申し上げます。

令和5(2023)年4月

三田市長 森 哲 男



目次

序章 都市計画マスタープランについて

- (1) 都市計画マスタープラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 上位計画の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (3) 改定の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (4) 計画対象区域・計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (5) 持続可能な開発目標（SDGs）への貢献・・・・・・・・・・ 7

1章 本市の特性と課題

- (1) 本市の特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (2) まちづくりで重視すべき課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

2章 まちづくりの方針 ～都市の将来像～

- (1) 目指すべき将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- (2) 都市計画に関する基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

3章 まちづくりの実現方策 ～都市計画の方針～

- まちづくりの実現方策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- (1) 都市拠点の配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- (2) 地域拠点の配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
- (3) 生活支援機能の誘導・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- (4) 産業の振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- (5) 市街地密度の誘導・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
- (6) 農村地域の土地利用の弾力化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
- (7) 安全・安心なまちづくりの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
- (8) 公共交通の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
- (9) 公共施設のマネジメント・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
- (10) 地域資源の維持・保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
- (11) 共創によるまちづくりの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60

参考資料

- 用語説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64